
統計数理研究輯報

第 3 號

教育調査の企畫から分析まで

I

昭和 26 年 3 月

統計数理研究所

東京都世田谷區三軒茶屋町10

前 書 き

近時 *Sampling* 調査が、盛に行はれておる方面の一つは、教育関係がある。

之には全国的な範囲に就いて行ふものから、府縣の教育委員会の範囲を對象とするもの、更に市・町・村の中で行はれるもの等種々ある。

教授する側から教授される側迄その問題とする所も千差万別である。

然も此の様は複雑な對象を問題にする場合、種々の段階で困難があり、現実に行はれた調査結果を見た時、僅か、二三の考慮を追加していたなら、更に更に有益な調査となつたであらうと、惜しまれるものが少くない。

此処に編輯した統計数理研究報の第三号は、此の様な、多くの場合、調査の専門家でない教育関係者が行ふ調査の参考となる様にと、三つの教育関係調査に就いての報告を纏めたものである。

Sampling から *Analysis* の *interpretation*迄を扱ふ心算であるが、原稿の分量の事で、*Analysis* 以降は別巻に譲ることとし、本号は大体 *design* の段階を主にして“教育調査の企画から分析迄”(其の一)として発行する。

本報第2号の一・二の報告と本号で、大体企画の段階の構想は把握できるものと信ずる。

以下の段階については、近刊の“教育調査の企画から分析迄”(其の二)(其の三)を参照されたい。